

平成30年度那賀町議会議員視察研修報告書（別紙）

日時	2018年6月5日(火) ～ 2018年6月6日(水) 2日間
視察地1	和歌山県新宮市 市田川排水機場
視察地2	三重県紀宝町 役場 相野谷川流域排水ポンプ場

考察（所感、課題、提言等）

<視察地1> 「国土交通省と新宮市共同による浸水対策について」

1. 排水機場建屋



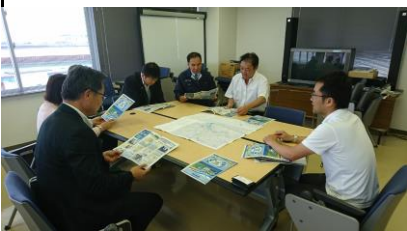
那賀町においては、徳島県が事業主体となって鶯敷地区の輪中堤築堤事業が進行している。

築堤後の内水対策については、基礎自治体が担当する。

2. 止水ゲート



3. 建屋内会議室



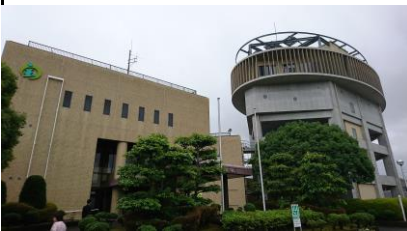
那賀町において内水対策は、ポンプではなく、フラップゲートの設置で対応するという事である。ポンプを設置している自治体、施設を視察するとその必要性を感じる。費用対効果等、慎重に議論すべきである。

4. 取水ポンプ



<視察地2> 「紀宝町単独事業による輪中堤+排水ポンプの現地調査について」

1. 紀宝町役場



2. 役場内会議室



3. 輪中堤



4. 輪中堤+内水排水ポンプ設備



取水口

排水口

5. 浸水高

2017年浸水



輪中堤を築堤し、内水対策として取水ポンプを設置していても、水害が発生した地域を視察する。災害は、輪中体の高さやポンプの排水能力の想定内を超えてしまっていた。しかしながら、設置後の水害の頻度は減少していると見て取れるデータを提示され、減災・防災についても、費用対効果を慎重に議論しながら、自然との共生を図ることが大切であるという視点を確認する機会となった。